

平成 29 年度狛江市行政提案型市民協働事業

「子どもとその保護者及び高齢者における交通事故ゼロを目指すため、交通事故事例集などの小冊子作成」事業報告書

狛江市・調布交通安全協会
(平成 30 年 3 月)

1. 事業実施目的

調布交通安全協会、調布警察署、狛江市が協力し、交通安全運動などを通して市民に対し交通ルールの周知を行っていますが、さらに交通安全意識の向上や意識啓発を図る目的で、事故の実例を示したイラストや漫画を用いた小冊子を作成し、市内における交通事故ゼロを目指す。

2. 主体

狛江市

調布交通安全協会狛江支部

3. 事業形態

狛江市と調布交通安全協会との市民協働事業

※調布交通安全協会の各支部のうち、狛江連合支部の会員による小冊子の編集

※調布警察署による交通事故データの提供及び小冊子の監修などの協力を得たもの

4. 主たる作成者名簿

調布交通安全協会狛江支部会員

所 属	氏 名
調布交通安全協会 狛江連合支部長	小川 国利
調布交通安全協会 狛江連合副支部長	秋元 防人
調布交通安全協会	藤原 成行
調布交通安全協会 副会長	富永 豊
調布交通安全協会 副会長	栗山 光行



調布交通安全協会狛江連合支部の役員

5. 作成作業経過

	概要	作業内容	実施日
1	調布警察・調布交通安全協会本部との協議	平成 28 年中に市内で発生した交通事故について協議	平成 29 年 6 月 13 日
2	狛江連合支部長会での協議	小冊子の作成の方針の決定	平成 29 年 6 月 15 日
3	作成会議	交通事故データの状況把握	平成 29 年 7 月 11 日
4	作成会議	掲載内容の方針（配布対象者等）の決定について	平成 29 年 8 月 8 日
5	作成会議	掲載事例の検討・選出・協議	平成 29 年 8 月 23 日
6	作成会議	表題・まとめの検討	平成 29 年 10 月 30 日
7	作成会議	文言の精査・確認	平成 29 年 12 月 19 日
8	主たる作成者における確認	構成の確認（様式、色、構図）	平成 30 年 1 月 25 日 ～平成 30 年 2 月 15 日
9	狛江連合支部長会での承認への報告・説明	作成案の確認	平成 30 年 3 月 7 日

6. 作成作業内容

・交通事故データの状況把握

調布警察署の協力により平成 28 年の一年間のうち市内で発生した交通事故データを参考にし、市の現状の把握をしました。

・掲載内容の方針（配布対象者等）の決定

完成した小冊子をより広く配布することで、交通事故ゼロへの効果が期待できると考え、配布対象は絞らず、幅広い世代に配布できる内容とした上で、子ども・高齢者の方に重点を置いた内容としました。

・掲載事例の検討・選出・協議

交通事故データや重点においた子ども・高齢者の方に特に気をつけていただきたい内容として、以下の6事例としました。また、掲載の仕方としては、注意点の記述だけにせず、ページをめくることで、読者のシミュレーションになる構成としたほか、親しみやすく読み易いように全編において、イラストを中心とした構成、一部へのふりがなの記述、関連した内容の安安丸の4コマ漫画を掲載しています。

①いつもの道での自転車の運転

- ②幅の広い道路での自転車の運転
- ③交差点内での歩き方
- ④交通環境（交通量・夜間）の変化
- ⑤子どもは気付かない・気付けない
- ⑥道路の横断（高齢者）

・表題・まとめの検討

市で推進している「安心安全」の文言を表題に採用し、表紙を見るだけで、内容が予想できる構図としています。（表紙の基本色に目に付き易い赤色を選定）

巻末に小冊子の内容をまとめたポイントと読者への投げかけの記述をしました。

・文言の精査・確認

最終確認とともに、文章の表現や柔らかい様式など伝わり易いものを選択しました。

7. 小冊子の特徴・作成ポイント

- ・歩行者、自転車、自動車などの複数の視点について学ぶことができる事例の選定
- ・交通事故のシミュレーションができる構成
- ・イラストを全編に配置
- ・日本一安心で安全なまち推進キャラクター「安安丸」の活用した4コマ漫画の掲載
- ・手に取ってもらいやすいハンドブック（A5版サイズ）を採用
- ・特に気をつけてもらいたい事例への全編ふりがなの追記（低学年の児童への配慮）

8. 今後の展開

- ・各種イベントでの小冊子の配布
（全国交通安全運動、交通安全講習会、交通安全のつどい、自転車キャンペーン等）
- ・市内公立小学校・中学校への配布
- ・高齢者の参加するイベントなどでの配布
- ・小冊子を活用した交通安全教室の実施
- ・必要に応じて、増刷の実施
- ・市主催の交通安全教室などでの活用・配布